受領　令和８年９月 28 日 22 時 56 分	通告番号（６）1/2

令和８年９月 28 日

読谷村議会
議長　比　嘉　幸　雄　　殿

読谷村議会議員
松　田　　茂　　印

一 般 質 問 通 告 書

第 555 回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第 61 条第２項の規定により通告いたします。

質　問　要　旨	答弁を求める者
1　村の防災情報発信について （１）今月、関東を中心に災害規模の大雨で千葉県では防波堤が決壊し多くの死者、犠牲者が出ております。これまでの常識では予想されない自然災害の猛威、被害者を少なくする為に災害情報を瞬時に的確に村民住民に知らせる責務がある中、手段の一つとして防災無線による災害情報発信を屋外スピーカーにて住民に行っていますが実際に伝わっているのか？私自身の体験や隣近所・知人・親戚関係に確認しても「放送しているのは分かるが何を言っているのか分からない、窓を開けて確認しようとすると放送が終わっている」これが防災無線・屋外スピーカーへの村民・大多数の声です。現在の防災無線による緊急災害発信についての課題認識を問う。 （２）災害情報を受け取る住民の手段も多様化し防災無線以外の行政・災害情報発信について具体的発信手段を問う。 （３）災害情報発信・各手段毎の情報・理解度の状況把握・調査について下記のとおり問う。「行政は情報を投げる＝発信」に対して「住民は情報を正しく受取る＝受信・理解」で発信者の業務完了。（社会常識では）投げて終わっていないか？ちゃんと受け取っているか？理解したのか？業務の成果を追求・把握し改善する事が行政の重要任務と理解している。特に災害に絡む住民の生命・財産を守る為、緊急災害情報の入手手段の割合、年層別・入手手段の状況把握の調査を求める。	

質　問　要　旨	答弁を求める者
２　読谷村が平成27年（2015）に策定しました「赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画」について （１）「赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画」の策定目的を問う。 （２）当、基本計画を策定コンサル委託業務した会社名と策定委託費用を問う。 （３）当、基本計画書の231ページでは概ね10年後の令和７年完成予定と記載されているが現在の進捗状況を問う。 （４）費用と時間をかけて構想した本計画を基本計画通りやり遂げる意思があるのか伊波村長に問う。	
３　読谷村の「道の駅」について （１）読谷村の「道の駅」は現在、国土交通省指定の「道の駅」として登録されておらずSNS上で検索調査では利用者の公表データは無く読谷村観光協会マップにも「道の駅」は存在しません。村内でも存在を知らない方が多くいます。隣接する嘉手納町「かでな道の駅」年間利用者50万人、リニュアル後の目標は80万人。一方、恩納村「おんな道の駅」年間利用者120万人この状況の悲惨さを行政はどう認識し、どう対応するのか具体策を問う。 （２）読谷村の「道の駅」が現在に至った経緯を問う。 （３）「道の駅」隣接する専用駐車場は現在どこが管理し運用しているのか？特定の人の駐車場になっていないか？どのように、いつまでに是正するのか問う。	